

「学都いしかわグローバルチャレンジプログラム」

ローカルチャレンジプログラム
グローバルチャレンジプログラム

修了証の申請方法

「学都いしかわグローバルチャレンジプログラム」とは

地域課題解決と国際課題理解を各大学独自の体験型プログラムから重点的に学修した学生に対して、グローバル人材としての資質修得を認定するものです。

対象となるプログラムは各機関で定めていますので、担当部署に確認をしてください。

《修了証の種類》

- ・ローカルチャレンジプログラム
- ・グローバルチャレンジプログラム

※ 2つのプログラムを修了すると「学都いしかわグローバル人材」の申請をすることができます。

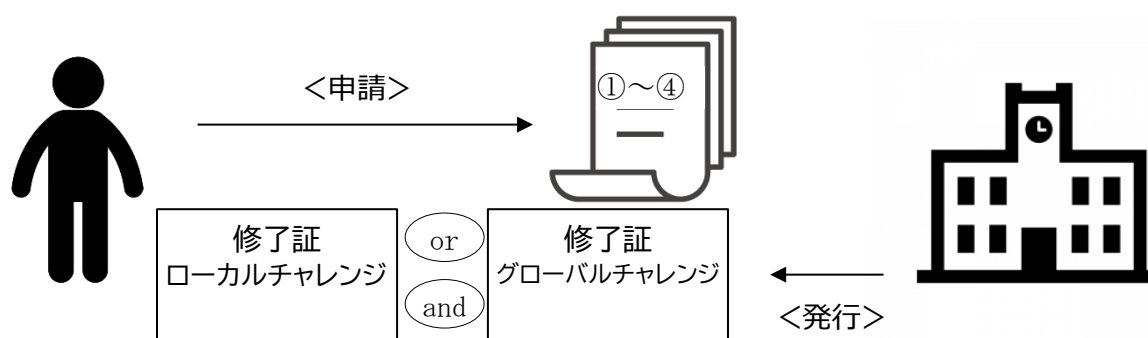
《必要書類》

- ①「学都いしかわグローバルチャレンジプログラム」参加登録申請書
- ②「学都いしかわグローバルチャレンジプログラム」修了証申請書
- ③「学都いしかわグローバルチャレンジプログラム」取得単位表
- ④該当科目の含まれる所属高等教育機関の成績表もしくは成績証明書

《手続方法》

所属する機関の担当部署※に上記①～④の書類を提出します。

規定の単位取得を確認後、修了証が発行されます。



《各機関の申請窓口》

金沢大学学務部学務課教育推進係、石川県立看護大学教務学生課
石川県立大学教務学生課

各機関の「学都いしかわグローバルチャレンジプログラム」対象科目、必要書類(成績証明書等除く)は学都いしかわ・課題解決型グローバル人材育成プログラム」のホームページ (<http://gakuto.ucon-i.jp>) からダウンロードできます。

《申請時期》：随時

《申請場所》：所属する機関の担当部署

参 考

【ローカルチャレンジプログラムの修了要件】

ローカルチャレンジは、次の3群と最低単位で構成する。単位は、各大学の授業履修単位を想定している。

- A 群：地域を理解する科目群（石川理解を含む）
 - ・シラバスに地域理解を明記している科目から構成する。
 - ・大学が開講する独自科目のほか、シティカレッジ開講科目「石川県の市町」、「石川県の行政」、「金沢の歴史と文化」、インターネット教材「いしかわで学ぶ未来可能性」を含めることが望ましい。
- B 群：フィールドワークの基礎を学ぶ科目群
 - ・シラバスにフィールドワークの知識や技術を明記している講義・演習・実習科目から構成する。
- C 群：フィールドワークの実践から学ぶ科目群（報告会を含む）
 - ・実習やインターンシップなどの教室外での実践的な科目から構成する。
 - ・取り組みの成果を報告・フィードバックする報告会を含むことが望ましい。

修了要件：15単位以上とする。

- ※ A・B・C 群ごとの必要単位数は各大学の事情に応じて変更することができる。
- ※ 単位化されていないプログラムは、各大学の基準に基づいて相当する単位としてみなすことができる。
- ※ 二つのプログラムを認定する場合は、A 群における科目の重複を認める。

【グローバルチャレンジプログラムの修了要件】

グローバルチャレンジは、次の3群と最低単位で構成する。単位は、各大学の授業履修単位を想定している。

- A 群：国際を理解する科目群（石川理解を含む）
 - ・シラバスに国際理解を明記している科目から構成する。
 - ・大学が開講する独自科目のほか、シティカレッジ開講科目インターネット教材、「いしかわで学ぶ未来可能性」を含めることが望ましい。
- B 群：異文化コミュニケーションを学ぶ科目群
 - ・シラバスに異文化理解を明記している講義科目とコミュニケーション技術を学ぶ演習・実習科目からの両方から構成する。
- C 群：海外交流の実践から学ぶ科目群（報告会を含む）
 - ・留学や海外インターンシップの実践的な科目から構成する。
 - ・国内で開催される国際交流プログラム（1 単位以上相当）を含むことができる。
 - ・取り組みの成果を報告・フィードバックする報告会を含むことが望ましい。

修了要件：15単位以上とする。

- ※ A・B・C 群ごとの必要単位数は各大学の事情に応じて変更することができる。
- ※ 単位化されていないプログラムは、各大学の基準に基づいて相当する単位としてみなすことができる。
- ※ 二つのプログラムを認定する場合は、A 群における科目の重複を認める。

「学都いしかわグローバルチャレンジプログラム」

学都いしかわグローバル人材認定証申請方法

「学都いしかわグローバル人材認定証」とは

海外の課題を体験的に学び、地域課題解決力を国際的な視野から修得し、チャレンジ意欲、思考力・判断力、課題解決力、対人基礎力、国際力、対自己基礎力の6つの能力を身につけたことを証明する認定証です。

《申請対象》

ローカルチャレンジプログラム修了証とグローバルチャレンジプログラム修了証の2枚を取得した学生

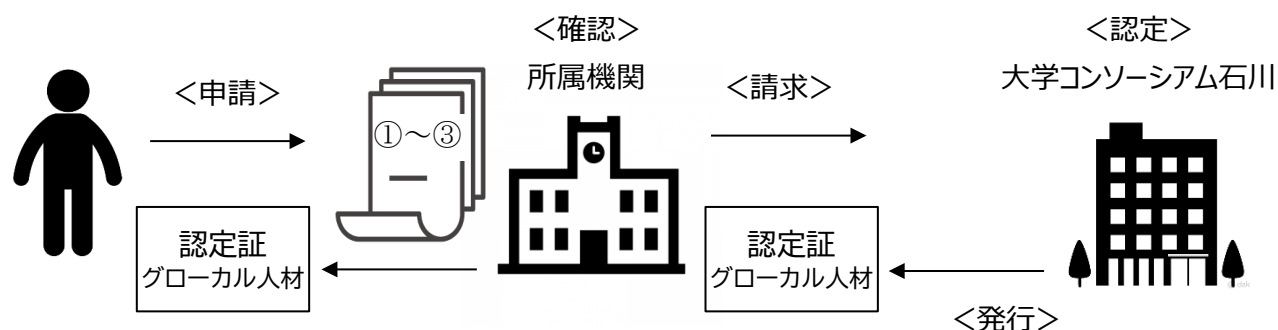
《必要書類》

- ①「学都いしかわグローバル人材認定証」申請書
- ②学都いしかわグローバルチャレンジプログラム及びローカルチャレンジプログラム修了証
- ③ループブック自己診断表

《手続方法》

所属する機関の担当部署※に上記①～③の書類を提出します。

所属する機関から大学コンソーシアム石川に「学都いしかわグローバル人材認定証」の請求が行われます。



《各機関の申請窓口》

金沢大学学務部学務課教育推進係、石川県立看護大学教務学生課
石川県立大学教務学生課

各機関の「学都いしかわグローバルチャレンジプログラム」対象科目、必要書類は学都いしかわ・課題解決型グローバル人材育成プログラムのホームページ（<http://gakuto.ucon-i.jp>）からダウンロードできます。

《申請時期》：随時

《申請場所》：所属する機関の担当部署

参 考

ループリック自己診断表について

【ローカルチャレンジプログラム】

ローカルチャレンジでは、共通観点（チャレンジ意欲と思考力）と個別観点（課題解決力と対人基礎力）から構成する。個別観点は、地域課題の解決にチームを編成して取り組むことが期待されることから、課題解決力と対人基礎力とした。これらの観点は、社会人基礎力との親和性も高く、企業等に対する説明にも効果的であると期待される。

- チャレンジ意欲：好奇心・探究心、使命感、創造意欲
 - 思考力・判断力：専門的知識、批判的思考、倫理観
 - 課題解決力：情報収集力情報分析力、計画立案力、実行力
 - 対人基礎力：親和力、傾聴力、情報発信・共有力、ストレスコントロール力
- ※観点追加：大学は、独自の観点を追加できる。

【グローバルチャレンジプログラム】

グローバルチャレンジでは、共通観点（チャレンジ意欲と思考力）と個別観点（国際力と対自己基礎力）から構成する。個別観点は、海外での留学生活や外国人との交流に個の力を発揮して取り組むことが期待されることから、国際力と対自己基礎力を個別観点とした。これらの観点は、国際化時代に立ち向かう能力であり、企業等に対する説明にも効果的であると期待される。

- チャレンジ意欲：好奇心・探究心、使命感、創造意欲
 - 思考力・判断力：専門的知識、批判的思考、倫理観
 - 国際力：国際的知識、異文化理解、異文化適応力、外国語コミュニケーション力
 - 対自己基礎力：感情抑制力自信創出力行動持続力リスクマネジメント
- ※観点追加：大学は、独自の観点を追加できる。

詳細は「別紙」を参照してください。

**「学都いしかわグローバルチャレンジプログラム」
参加登録申請書**

申請日 年 月 日

所属機関			
学部・学域・研究科等			
学科・学類等			
学 年	年	学籍番号	
ふりがな			
氏 名			
住 所	〒		
電話番号	自宅：		
メール アドレス			
ここは所属機関担当事務が記入する欄です。 申請受付年月日 年 月 日 受付担当者			

整理番号

「学都いしかわグローバルチャレンジプログラム」

修了証 ローカル・グローバル 申請書

(申請する修了証の種類に○をつけてください。)

申請日 年 月 日

所属機関			
学部・学域・研究科等			
学科・学類等			
学 年	年	学籍番号	
ふりがな			
氏 名			
住 所	〒		
電話番号			
メール アドレス			
ここは所属機関担当事務が記入する欄です。			
申請受付年月日 年 月 日			
受付担当者			

**「学都いしかわグローバルチャレンジプログラム」
学都いしかわグローバル人材認定証申請書**

申請日 年 月 日

所属機関			
学部・学域・研究科等			
学科・学類等			
学 年	年	学籍番号	
ふりがな			
氏 名			
住 所	〒		
電話番号			
メール アドレス			
ここは所属機関担当事務が記入する欄です。 申請受付年月日 年 月 日 受付担当者			

「学都いしかわグローバルチャレンジプログラム」取得単位表

氏名

【ローカルチャレンジ】

番号	区分	科目名称	実施主体 (高等教育機関・シティカレッジ)	代表教員	実施時期	単位	備考
記入例1		石川県の市町	シティカレッジ	古畑	令和2年度	2	
記入例2		社会調査論	金沢大学	真鍋	令和3年度	2	
記入例3		フィールド実習	石川県立看護大学		令和3年度	1	
記入例4		石川の自然と農林水産業	石川県立大学		令和3年度	2	
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

ローカルチャレンジは、次の3群と最低単位で構成する。単位は、各大学の授業履修単位を想定している。

A群：地域を理解する科目群（石川理解を含む）

- ・シラバスに地域理解を明記している科目から構成する。
- ・大学が開講する独自科目のほか、シティカレッジ開講科目「石川県の市町」、「石川県の行政」、「金沢の歴史と文化」、インターネット教材「いしかわで学ぶ未来可能性」を含めることが望ましい。

B群：フィールドワークの基礎を学ぶ科目群

- ・シラバスにフィールドワークの知識や技術を明記している講義・演習・実習科目から構成する。

C群：フィールドワークの実践から学ぶ科目群（報告会を含む）

- ・実習やインターンシップなどの教室外での実践的な科目から構成する。
- ・取り組みの成果を報告・フィードバックする報告会を含むことが望ましい。

修了要件：15単位以上とする。

- ・A・B・C群ごとの必要単位数は各大学の事情に応じて変更することができる。
- ・単位化されていないプログラムは、各大学の基準に基づいて相当する単位としてみなすことができる。
- ・二つのプログラムを認定する場合は、A群における科目の重複を認める。

「学都いしかわグローバルチャレンジプログラム」取得単位表

氏名

【グローバルチャレンジ】

番号	区分	科目名称	実施主体 (高等教育機関・シティカレッジ)	代表教員	実施時期	単位	備考
記入例1		石川県の市町	シティカレッジ	古畑	令和3年度	2	
記入例2		異文化コミュニケーション	金沢大学		令和3年度	1	
記入例3		15国際看護論	石川県立看護大学		令和2年度	1	
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

グローバルチャレンジは、次の3群と最低単位で構成する。単位は、各大学の授業履修単位を想定している。

A群：国際を理解する科目群（石川理解を含む）

- ・シラバスに国際理解を明記している科目から構成する。
- ・大学が開講する独自科目のほか、シティカレッジ開講科目インターネット教材、「いしかわで学ぶ未来可能性」を含めることが望ましい。

B群：異文化コミュニケーションを学ぶ科目群

- ・シラバスに異文化理解を明記している講義科目とコミュニケーション技術を学ぶ演習・実習科目からの両方から構成する。

C群：海外交流の実践から学ぶ科目群（報告会を含む）

- ・留学や海外インターンシップの実践的な科目から構成する。
- ・国内で開催される国際交流プログラム（1単位以上相当）を含むことができる。
- ・取り組みの成果を報告・フィードバックする報告会を含むことが望ましい。

修了要件：15単位以上とする。

- ・A・B・C群ごとの必要単位数は各大学の事情に応じて変更することができる。
- ・単位化されていないプログラムは、各大学の基準に基づいて相当する単位としてみなすことができる。
- ・二つのプログラムを認定する場合は、A群における科目の重複を認める。

ルーブリック自己診断表

氏名 _____

- 「学都いしかわグローバルチャレンジプログラム」のルーブリックを参考に、自分の能力レベルを診断し、そのレベルの欄に○を付けてください。ルーブリックは「[学都いしかわ・課題解決型グローバル人材育成プログラム](http://gakuto.ucon-i.jp)」のホームページ (<http://gakuto.ucon-i.jp>) に掲載されていますので、ダウンロードしてください。

※自己評価欄について

別紙を参照の上、レベル1～4を記入してください。

【ローカルチャレンジプログラム】

ローカル・グローバル共通				
目標観点	説明	観点	説明	自己評価
チャレンジ意欲	何事にもチャレンジ精神を持って取り組もうとする意欲がある	好奇心・探究心	何事にも関心を持って探究しようとする知的活動の原動力をもっている	
		使命感	自分に課せられた任務に使命感を持って果たす気概をもっている	
		創造意欲	新しいものを創りだそうとする意欲にあふれている	
思考力・判断力	知識や経験に基づいて思考し、判断できる	専門的知識	専門的な知識を確実に修得している	
		批判的思考	多様な角度から検討し、論理的に思考し、客観的に判断できる	
		倫理観	倫理的観点から何が正しく、何が間違った行為かを理解し、判断できる	

ローカル独自項目				
目標観点	説明	観点	説明	自己評価
課題解決力	課題を発見し、解決する力を修得している	情報収集力	確かな情報源から、短期間に幅広く豊富に情報収集できる	
		情報分析力	収集した情報を的確に分析し、適切な方法で目的に応じた情報に加工できる	
		計画立案力	課題を解決する仮説を提案し、解決するための計画を立案できる	
		実行力	計画に基づいて実行し、目標達成に向けてやり通す力がある	
対人基礎力	組織の内外にかかわらず、相手に対して適切に対応できる	親和力	誰に対しても親しみを持って交流できる	
		傾聴力	相手の言葉とその背後にある感情、言葉以外の行動に注意を向け、理解し受けとめることができる	
		情報発信・共有力	組織内で共有すべき情報を適時に相手に分かりやすく伝えることができる	
		ストレスコントロール力	ストレスを受けとめ過ぎず、柔軟にかわし、ストレス源に対し適切に対応できる	

※各大学において、目標観点を追加することができる。

ループリック自己診断表

氏名 _____

- 「学都いしかわグローバルチャレンジプログラム」のループリックを参考に、自分の能力レベルを診断し、そのレベルの欄に○を付けてください。ループリックは「**学都いしかわ・課題解決型グローバル人材育成プログラム**」のホームページ (<http://gakuto.ucon-i.jp>) に掲載されていますので、ダウンロードしてください。

※自己評価欄について

別紙を参照の上、レベル1～4を記入してください。

【グローバルチャレンジプログラム】

ローカル・グローバル共通				
目標観点	説明	観点	説明	自己評価
チャレンジ 意欲	何事にもチャレンジ精神を持って取り組もうとする意欲がある	好奇心・探究心	何事にも関心を持って探究しようとする知的活動の原動力をもっている	
		使命感	自分に課せられた任務に使命感を持って果たす気概をもっている	
		創造意欲	新しいものを創りだそうとする意欲にあふれている	
思考力・ 判断力	知識や経験に基づいて思考し、判断できる	専門的知識	専門的な知識を確実に修得している	
		批判的思考	多様な角度から検討し、論理的に思考し、客観的に判断できる	
		倫理観	倫理的観点から何が正しく、何が間違った行為かを理解し、判断できる	

グローバル独自項目				
目標観点	説明	観点	説明	自己評価
国際力	異文化を理解し、受け入れ、国際人として外国の人と交流することができる	国際的知識	国際理解に必要な知識や国際感覚を身に付けている	
		異文化理解	自分の文化とは異なる文化を理解し、解釈することができる	
		異文化適応力	文化の違いを受け入れ、自文化と異なる環境において、他者とともに行動することができる	
		外国語コミュニケーション力	外国語でコミュニケーションすることができる	
対自己 基礎力	自分と向き合い、自己成長を続けることができる	感情抑制力	社会生活に支障を来すマイナス感情を抑制し、理性的に振る舞うことができる	
		自信創出力	前向きな考え方やモチベーションを維持し、自信創出に取り組むことができる	
		行動持続力	主体的な行動を習慣づけることによって、行動を持続できる	
		リスクマネジメント	起こりうるリスクを想定し、リスク発生時の被害を最小限に食い止めようと努めることができる	

※各大学において、目標観点を追加することができる。

「学都いしかわグローバルチャレンジプログラム」ルーブリック

ローカル・グローバル共通

観 点	観 点 説 明
チャレンジ意欲	何事にもチャレンジ精神を持って取り組もうとする意欲がある
好奇心・探究心	何事にも関心を持って探究しようとする知的活動の原動力をもっている
使命感	自分に課せられた任務に使命感を持って果たす気概をもっている
創造意欲	新しいものを創りだそうとする意欲にあふれている
思考力・判断力	知識や経験に基づいて思考し、判断できる
専門的知識	専門的な知識を確実に修得している
批判的思考	多様な角度から検討し、論理的に思考し、客観的に判断できる
倫理観	倫理的観点から何が正しく、何が間違った行為かを理解し、判断できる

ローカル独自項目

観 点	観 点 説 明
課題解決力	課題を発見し、解決する力を修得している
情報収集力	確かな情報源から、短期間に幅広く豊富に情報収集できる
情報分析力	収集した情報を的確に分析し、適切な方法で目的に応じた情報に加工できる
計画立案力	課題を解決する仮説を提案し、解決するための計画を立案できる
実行力	計画に基づいて実行し、目標達成に向けてやり通す力がある
対人基礎力	組織の内外にかかわらず、相手に対して適切に対応できる
親和力	誰に対しても親しみを持って交流できる
傾聴力	相手の言葉とその背後にある感情、言葉以外の行動に注意を向け、理解し受けとめることができる
情報発信・共有力	組織内で共有すべき情報を適時に相手に分かりやすく伝えることができる
ストレスコントロール力	ストレスを受けとめ過ぎず、柔軟にかわし、ストレス源に対し適切に対応できる

グローバル独自項目

観 点	観 点 説 明
国際力	異文化を理解し、受け入れ、国際人として外国の人と交流することができる
国際的知識	国際理解に必要な知識や国際感覚を身に付けている
異文化理解	自分の文化とは異なる文化を理解し、解釈することができる
異文化適応力	文化の違いを受け入れ、自文化と異なる環境において、他者とともに行動することができる
外国語コミュニケーション力	外国語でコミュニケーションすることができる
対自己基礎力	自分と向き合い、自己成長を続けることができる
感情抑制力	社会生活に支障を来すマイナス感情を抑制し、理性的に振る舞うことができる
自信創出力	前向きな考え方やモチベーションを維持し、自信創出に取り組むことができる
行動持続力	主体的な行動を習慣づけることによって、行動を持続できる
リスクマネジメント	起こりうるリスクを想定し、リスク発生時の被害を最小限に食い止めようと努めることができる

各大学において、観点・サブ観点を追加することが出来る。

ローカル・グローバル共通			目標水準				
			受動行動	通常行動	能動行動	創造行動	
説明			指示されたことについて、部分的・断片的に思考し、行動する段階	自らの思考・判断から、指示されたことについて、やるべきことをやるべき時に与える段階	誰かに指示されなくても、明確な意図・判断に基づいて、主体的・能動的に行動できる段階	独自の工夫や創造性に基づき、状況を変化させ、打破しようと思考判断し、行動できる段階	
一般的行動例			自分が好きなこと、目のことだけは取り組めるだけ責任は持ちたくない	自分ではやりたくないことでも、必要と判断したことは取り組める最低限の責任が持てる	自分の意志で行動を開始し、最後まで遂行することができる自分の行動に責任を持てる	これまでに学修した知見を基礎として自分自身で工夫を加えて行動できる責任ある行動ができる	
目標観点	説明	観点	自分に課せられた任務を使命感を持って果たす気概をもっている	レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4
チャレンジ意欲	何事にもチャレンジ精神を持って取り組もうとする意欲がある	好奇心・探究心	何事にも関心を持って探究しようとする知的活動の原動力をもっている	指示されたことについて関心を持てる	指示されたことについて意欲を高め、関心を持って探究できる	誰かに指示されなくても、好奇心を持って、主体的に探究できる	好奇心や探究心にあふれ、あらゆることに旺盛な意欲を持って、チャレンジの継続が連鎖してできる
		使命感	自分に課せられた任務に使命感を持って果たす気概をもっている	指示されたことに使命を果たそうとするが、できるだけ責任が及ばないようにする	指示されたことに使命感を高めて行動できるその範囲に限って責任を持つ努力ができる	なすべきチャレンジに自ら使命感を持って取り組み、その責任を自ら負える	高い使命感を持って主体的なチャレンジができる他者に配慮しながら、責任ある行動ができる
		創造意欲	新しいものを創りだそうとする意欲にあふれている	指示されたことについてのみ、新しいものを作ろうとする	指示されたことについては、意欲を高めて創造に取り組める	誰かに指示されなくても、主体的な創造意欲を持ってチャレンジできる	創造意欲に満ちており、次々とチャレンジを継続できるその創造意欲が他者にもよい影響を与えている

				目標水準 能動行動			
				受動行動	通常行動	能動行動	創造行動
説明				指示されたことについて、部分的・断片的に思考し、行動する段階	自らの思考・判断から、指示されたことについて、やるべきことをやるべき時に行える段階	誰かに指示されなくても、明確な意図・判断に基づいて、主体的・能動的に行動できる段階	独自の工夫や創造性に基づき、状況を変化させ、打破しようと思考判断し、行動できる段階
一般的行動例				自分が好きなこと、目のことだけを取り組めるだけ責任は持ちたくない	自分ではやりたくないことでも、必要と判断したことは取り組める最低限の責任が持てる	自分の意志で行動を開始し、最後まで遂行することができる自分の行動に責任を持てる	これまでに学修した知見を基礎として自分自身で工夫を加えて行動できる責任ある行動ができる
目標観点	説明	観点	説明	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
思考力・判断力	知識や経験に基づいて思考し、判断できる	専門的知識	専門的な知識を確実に修得している	学修した知識をおおよそ理解しているが、修得した知識を正しく引き出せない	学修した知識を正しく記憶しており、修得した知識として、再現できる	学修した専門的知識を正確に理解しており、修得した知識として正確に再現でき、それを活用できる	学修した専門的知識を正確かつ体系的に理解しており、修得した知識を自在に活用・応用できる
		批判的思考	多様な角度から検討し、論理的に思考し、客観的に判断できる	自分が得意な内容に限定して、批判的な指摘ができる	複数の視点から検討することができ、論理的に思考できる	客観的な立場から批判的に思考することができ、客観的に判断することができる	複数の立場から批判的に思考することができ、論理的な思考に基づいて客観的に判断できるその批判的思考が他者により影響を与えている
		倫理観	倫理的観点から何が正しく、何が間違った行為かを理解し、判断できる	正しいと思ったことを正しいと説明できる	正しいと思ったことを正しく説明できる間違いを指摘されたときは、それを受け入れることができる	何が正しいか、何が間違った行為であるかを自ら理解し判断できる倫理観をもっている	何が正しいか、何が間違った行為であるかを自ら理解し判断できる倫理観を持っており、他者の倫理観にもよい影響を与えている

各大学において、観点・サブ観点を追加することができる。

ローカル独自項目							
目標観点	説明	観点	説明	受動行動	通常行動	目標水準 能動行動	創造行動
				一般的行動例	一般的行動例	一般的行動例	一般的行動例
課題解決力	課題を発見し、解決する力を修得している	情報収集力	自分に課せられた任務を使命感を持って果たす気概をもっている	指示されたことを情報収集できる	指示されたことを、できるだけ多く、できるだけ正確に情報収集できる	誰かに指示されなくても、確かな情報源から、幅広く豊富に短期間に情報収集できる	真に有効かつ有益で正確な情報を、確かな情報源から、幅広く豊富に短期間に収集できる
		情報分析力	収集した情報を確に分析し、適切な方法で目的に応じた情報に加工できる	指示された情報に限定して分析できる	指示された情報を妥当な方法で分析でき、目的に応じた情報に加工しようとする	誰かに指示されなくても、収集した情報を適切に分析し、目的に応じた情報に加工できる	収集した情報を適切な方法で正確に分析でき、目的に応じた情報に加工できる
		計画立案力	課題を解決する仮説を提案し、解決するための計画を立案できる	指示された計画に限定して立てることができる	指示された課題について仮説を立て、解決するための計画を立てることができる	誰かに指示されなくても、課題を解決するための仮説を自ら提案し、それに基づいた計画を立案できる	課題解決に有効な仮説を複数の可能性から選定・提案し、その仮説に基づいた解決策を具体的に立案できる
		実行力	計画に基づいて実行し、目標達成に向けてやり通す力がある	指示されたことを指示どおりに実行できる	指示されたことをよく理解し、計画に基づいて実行できる	計画に基づいて実行し、自らの努力によって壁を乗り越えながら、目標達成に向けてやり通せる	計画に基づき、自らの努力によって壁を乗り越え、あるいは計画を修正しながら、目標達成に向けて最適な方法でやり通せる

目標観点	説明	観点	説明	受動行動	通常行動	目標水準 能動行動	創造行動
				一般的行動例	一般的行動例	一般的行動例	一般的行動例
対人基礎力	組織の内外にかかわらず、相手に対して適切に対応できる	親和力	誰に対しても親しみを持って交流できる	働きかけられたら相手に、応じることができる	働きかけられた相手に、親しみを持って交流できる	相手を選ばず働きかけを受け入れ、また、自分から親しみを持って働きかけ、交流できる	誰に対しても親しみを持って受け入れ、あるいは働きかけ、相手を尊重して交流できる
		傾聴力	相手の言葉とその背後にある感情、言葉以外の行動に注意を向け、理解し受けとめることができる	話しかけられたときは、話を聞く事ができる	話しかけられたときに、相手の言葉に注意を向け、理解しようと努力できる	相手の言葉と言葉以外の行動に注意を向け、相手を理解し受けとめることができる	相手の言葉とその背後にある感情、言葉以外の行動に注意を向け、相手を理解し受けとめることができる
		情報発信・共有力	組織内で共有すべき情報を適時に分かりやすく相手に伝えることができる	共有すべき情報に限定して伝達できる	共有すべき情報について、適時に漏れなく伝達できる	共有すべき情報について、適時に分かりやすく、相手に伝えることができる	共有すべき情報について、適時に分かりやすく、共有すべき人全員に適切な方法で情報発信できる
		ストレスコントロール力	ストレスを受けとめ過ぎず、柔軟にかわし、ストレス源に対し適切に対応できる	ストレスを感じたら、受けとめ過ぎないようにすることができる	ストレスを感じたら、受けとめ過ぎないように柔軟にかわすことができる	ストレスを受けとめ過ぎず、柔軟にかわし、ストレス源に対して適切に対応することができる	ストレスを受けとめ過ぎず、柔軟にかわし、ストレス源に対して適切に対応できる

各大学において、観点・サブ観点を追加することができる。

グローバル独自項目

グローバル独自項目			目標水準 能動行動				
			受動行動	通常行動	能動行動	創造行動	
説明			指示されたことについて、部分的・断片的に思考し、行動する段階	自らの思考・判断から、指示されたことについて、やるべきことをやるべき時に行える段階	誰かに指示されなくとも、明確な意図・判断に基づいて、主体的・能動的に行動できる段階	独自の工夫や創造性に基づき、状況を変化させ、打破しようと思判断し、行動できる段階	
一般的行動例			自分が好きなこと、目先のことだけは取り組めるだけ責任は持ちたくない	自分ではやりたくないことでも、必要と判断したことは取り組める最低限の責任が持てる	自分の意志で行動を開始し、最後まで遂行することができる自分の行動に責任を持てる	これまでに学修した知見を基礎として自分自身で工夫を加えて行動できる責任ある行動ができる	
目標観点	説明	観点	自分に課せられた任務を使命感を持って果たす気概をもっている	レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4
国際力	異文化を理解し、受け入れ、国際人として外国の人と交流することができる	国際的知識	国際理解に必要な知識や国際感覚を身に付けている	必要が生じたときに、国際的知識を得ようとする	国際的理解に必要な知識を修得しようと努力できる	国際理解に必要な知識を主体的に獲得し、国際感覚を身に付けている	海外の情報や知識に敏感であり、貪欲に国際的知識を修得し、高い国際感覚が身に付いている
		異文化理解	自分の文化とは異なる文化を理解し解釈することができる	距離の近い異文化に対して理解しようことができる	距離の近い異文化に対して理解し、解釈しようと努めることができる	どのような異文化に対しても、理解し解釈しようと努めることができる	どのような異文化に対しても関心を持ち、理解に努め解釈しようと積極的に働きかけられる
		異文化適応力	文化の違いを受け入れ、自文化と異なる環境において、他者とともに行動することができる	文化の違いを受け入れられる仲間に限って交流できる	自文化と異なる環境において、気の合った仲間とともに行動することができる	異文化環境において、その環境を受け入れ、他者とともに行動することができる	どのような異文化環境においても、その環境を受け入れ、自らを柔軟に適応させて、他者と行動することができる
		外国語コミュニケーション力	外国語でコミュニケーションすることができる	相手からの働きかけに応じて、外国語でコミュニケーションできる	自分から外国語でコミュニケーションしようと努力できる	不得意な領域であっても臆することなく、外国語でコミュニケーションしようと努力する	外国語コミュニケーションを駆使し、何にでも意欲を持ってチャレンジすることができる

			目標水準				
			受動行動	通常行動	能動行動	創造行動	
			説明	指示されたことについて、部分的・断片的に思考し、行動する段階	自らの思考・判断から、指示されたことについて、やるべきことをやるべき時に行える段階	誰かに指示されなくても、明確な意図・判断に基づいて、主体的・能動的に行動できる段階	独自の工夫や創造性に基づき、状況を変化させ、打破しようと思判断し、行動できる段階
			一般的行動例	自分が好きなこと、目先のことだけは取り組めるだけ責任は持ちたくない	自分ではやりたくないことでも、必要と判断したことは取り組める最低限の責任が持てる	自分の意志で行動を開始し、最後まで遂行することができる自分の行動に責任を持てる	これまでに学修した知見を基礎として自分自身で工夫を加えて行動できる責任ある行動ができる
目標観点	説明	観点	説明	レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4
対自己基礎力	自分と向き合い、自己成長を続けることができる	感情抑制力	社会生活に支障を来すマイナス感情を抑制し、理性的に振る舞うことができる	自分の感情が高ぶりを理解することができる	自分の感情が高ぶっても冷静に対応できる	相手の感情の高ぶりを察知しながら、自分の感情の高ぶりを抑えて振る舞うことができる	感情の高ぶっている相手に対しても、自分の感情の高ぶりを制御し、相手の感情を沈めるように理性的に振る舞うことができる
		自信創出力	前向きな考え方やモチベーションを維持し、自信創出に取り組むことができる	人に指摘されたときは、前向きな考えを持てる	自分から前向きな考えを持とうと努力している	前向きな取り組みが自信につながることを理解し、常にモチベーションの維持に取り組んでいる	自分のモチベーションを維持向上させるノウハウを持ち、自信創出のための自己変革に常に取り組んでいる
		行動持続力	主体的な行動を習慣づけることによって、行動を持続できる	人に指摘されたときは、行動を持続させようとする努力ができる	自分から行動を持続させようとする努力している	行動を持続させることが自己成長につながることを理解し、常に主体的に取り組んでいる	行動を持続させるためのノウハウをもち、習慣化された主体的取り組みが持続的行動を実現している
		リスクマネジメント	起こりうるリスクを想定し、リスク発生時の被害を最小限に食い止めようとする努力ができる	人に指摘されたときは、リスクを発生させないよう努めることができる	行動を起こすときにはリスク回避が大事であると理解しており、リスクに注意している	起こりうるリスクを想定できており、リスク発生時の被害を最小限にしようとする努力ができる	リスクマネジメントのノウハウを確認できており、リスク発生時の防止、リスク発生時の対処技術を修得している

各大学において、観点・サブ観点を追加することができる。